



夢は見るもの 叶うもの 人の3倍励むもの

# 秀麗の丘

学校だより NO.19  
令和4年12月16日  
発行人 八木沼孝夫

**教育目標** 新しい時代を担う豊かな心と知性を身につけた実践力のある生徒の育成

**知性**：自ら学び考える生徒 **友愛**：心豊かな生徒 **健康**：健康で実践力のある生徒

## 一小・一中の小中一貫教育の取組 9年間の成長を支えるために

先月下旬から一小・一中の小中一貫教育の取組がいくつか行われましたので紹介します。一小・一中では今後も小学1年から中学3年までの9年間の子どもの成長を共通理解を図りながら支援していきます。

### <一小・一中一貫教育授業研究会>

1月125日(金)、第一小学校において、一小・一中の小中一貫教育授業研究会が行われました。この事業は年2回行われており、6月に中学校・1月に小学校で行う計画で、今回は小学6年生3クラスの授業を小中学校の教職員が参観しました。

来年度中学校に入学してくる6年生は、どのクラスも落ち着いていてみんなで協力しあいながら学び合っている様子が見られました。その後の事後研究会では、小中の先生方が授業での子どもたちの学びの様子について協議しました。小中9年間の系統的・継続的な学びを行うためにどうすればよいかなどが話し合われました。また後半は、学習指導、生活指導、保健体育・食育、特別支援・道徳の分科会に分かれて、それぞれの分野での小・中学生の課題を確認して、その課題を解決するために取り組むべきことなどを確認し合いました。



6年生の授業を参観



小中教員での意見交換

### <一小・一中合同学校評議員会>

12月2日(金)には、同じく第一小学校を会場にして、小中合同学校評議員会を行いました。須賀川市では、全中学校区で小中一貫教育を行っていますが、学校評議員会も合同で開催する機会を設けており、一小・一中では毎年12月に実施しております。

合同学校評議員会では、初めに小学生の授業の様子を参観した後、それぞれ学校の現状を説明させていただき、質疑応答・意見交換を行いました。

評議員の方々からは、授業に一生懸命取り組んでいる様子が見られた。子ども達が元気に明るく生活している。肥満やSNS、ネット利用など家庭や保護者と対応が必要では?などの意見をいただきました。



学校評議員による参観①

学校評議員による参観②

学校評議員会でのあいさつ

小・中学校による説明

### <須一小6年生中学校体験>

12月12日(月)、須賀川一小の6年生の皆さんが中学校生活を体験しました。初めに、2つのグループに分かれて、中学校の授業を参観したり、生徒会役員から中学校生活についての説明を受けたりしました。その後、児童の皆さんが楽しみにしている部活動体験が行われました。

生徒会役員の中学校説明や部活動体験では、中学生が6年生に対して優しく教えていて、少し頼もしくなった先輩の姿を見ることができました。小学校の校長先生も中学生の様子を見てほめてくださいました。

あと数か月後には中学生になる6年生にとって、今回の中学校体験は貴重な体験になったと思います。



執行部の中学校生活説明

中学生が優しく教える

## 「学校教育アドバイザー訪問」第4回校内授業研究会

12月8日（金）、須賀川市学校教育アドバイザーで麻布教育研究所長の村瀬公胤先生に、9月に続いて2度目の訪問をしていただき、子どもたちの学びの様子や各教員の指導の様子を見ていただきました。

3・4校時目に全教員の授業を参観していただいた後、5校時目には、2年1組で横山教諭による理科の授業研究会を行いました。授業では、前線の断面図を用いて各地点の気象要素を考えるとという少し難しい課題に、生徒たちは授業終了のチャイムが鳴るまでの間、集中して取り組んでいました。

村瀬先生からは、9月からさらにステップアップした子どもたちの学びやそれを支えている私達教職員を称賛していただくとともに、今後の授業改善のためにアドバイスをいただきました。

現在、須賀川市教育委員会では「授業と授業研究を第一優先とした学校づくり」を重点施策としていますが、今後も本校では全教員が授業研究や互見授業（気軽にお互いの授業を見合って子どもの学びの姿から授業改善に生かす方式）を行い、授業での指導力向上を図ってまいります。



全教員の授業を参観



理科の校内授業研究会



授業の様子を話し合う教員



村瀬先生からの指導助言

## 今年はいよいよ活発なSDGsの取組を行っています

現在、本校は福島県の「ふくしまゼロカーボン宣言」に参加して、温暖化対策や環境問題への対策などを行って、持続可能な社会を目指すSDGsの取組を行っています。9月21日付学校だより「秀麗の丘」第13号で生徒会クリーン作戦や放送部の取組を紹介しましたが、今回はその他の取組を紹介します。

報道部	・毎月発行する学級新聞に「SDGsコーナー」を設け地球環境問題などについて記事にしています。	保健部	・節電節水と呼びかけるポスターを作成して校内に掲示しています。 ・教室の換気や加湿を行っています。
給食部	・毎日の給食の残滓量を測って残滓を少なくするように呼び掛けています。 ・毎月の食育献立の日を「残滓ゼロの日」としてフードロスに取り組んでいます。	美化部	・各教室にリサイクルボックスを置いて紙類の ・空き缶やペットボトルキャップを回収してリサイクルを行っています。
図書部	・家庭で不要になった本を回収して図書室に置いたり、希望する人に無料で配布する本のリサイクルを行っています。	JRC部	・ベルマーク運動に参加して感染対策のため非接触体温計を購入しました。 ・募金活動を行って、恵まれない人や飢餓に苦しんでいる人への支援を行っています。
放送部	・放送原稿をペーパーレスにしています。 ・月1回昼の放送で「SDGsコーナー」を行っています。	執行部	・校舎の水道の蛇口に節水コマを設置して節水に取り組んでいます。
学習部	・テスト範囲表などのペーパーレスに取り組んでいます。		

今年、上表のような活動を各生徒会専門部で取組を行い、昨年度よりも活発な取組になっています。そのため一中生のSDGsに対する意識は次第に高まりをみせています。



給食部：残滓ゼロの取組



図書部：本のリサイクル



保健部：ポスター制作



執行部：節水コマの設置

サッカーW杯で日本代表の快進撃に日本中が盛り上がりました。大会は続いています、現在の私は“W杯日本代表ロス”状態です。W杯が始まる前の組合せ抽選で、優勝経験のあるスペイン・ドイツと一緒に組に入った時は「予選リーグ敗退」と思った人がほとんどだったのではないかと思います。しかし実際はドイツ・スペインを撃破してのリーグ1位で決勝トーナメントへ進出は見事でした。まさに「夢は見るもの 叶うもの 人の三倍励むもの」を実現してくれました。今回、日本代表は今まで経験したことがない「ベスト8」を目標＝夢に掲げ、その夢に向けて個の力を発揮しながら練習を頑張り、しっかりと作戦を練り、団結力を高めるなど人の3倍以上励んだ結果、惜しくもベスト8にはなりませんでしたが、すばらしい戦いをしてくれました。予選リーグでコスタリカに0-1で負けた時、いつも子どもたちに「夢は見るもの 叶うもの 人の三倍励むもの」と言っているにもかかわらず、「やっぱりダメだな」と思ってしまった自分が情けないです。夢の実現に無限の可能性のあることを教えてくれた日本代表に感謝したいです。日本代表「ブラボー！」